

**＝ 病院の理念 ＝**  
 人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

# 東葛の健康

№ 476 2024年 4月号  
 [毎月5日発行] [定価1部20円]  
 発行 東京勤労者医療会東葛病院 院長 井上 均  
 〒270-0153 千葉県流山市中102-1  
 TEL 04 (7159) 1011(代)  
 FAX 04 (7158) 9202  
<http://www.tokatsu-hp.com/services/out/organization/>

## ヘルスリテラシー：がん治療から緩和ケアまで、正確な情報を！

**東葛の医療  
緩和ケア**



木下寛也医師

### 医師と対話で納得して 医療を受けましょう

ヘルスリテラシーとは

皆さん「ヘルスリテラシー」という言葉を聞いたことはありませんか？ヘルスリテラシーとは健康、予防、医療に関する正確な情報入手し、読み解き、活用する能力です。日々、マスコミ、週刊誌、書籍、インターネット、SNSなどから様々な医療情報が入ってきますが、かなり誤った情報は多いのです。がん医療に関する情報も同様で、「〇〇で末期癌が治った」「食べ物だけでがんが治った」「奇跡の〇〇療法で末期癌からの生還」などといった目を引くタイトルの書籍、芸能人、著名人などのがん治療などに関する報道、さらには、効果が検証されていない自費診療による免疫療法などの自由診療の医療機関のホームページなど正確でない情報が氾濫しています。

情報は玉石混交  
 これらの問題に対して、YouTubeは昨年、「誤った医療情報に関するYouTubeポリシー」の長期的なビジョンを発表しました。  
 しかし、まだまだ、情報は玉石混交です。医師の情報も信頼できるもの、そうでないものがあります。したがって、医療に関する正確な情報を得ることは至難の業です。がんとの診断は、生命に関わる可能性があり、患者・家族の今までの日常生活を脅かす出来事であり、まさしく青天の霹靂です。そのため、薬をもつかむ思いから、本人・家族は様々な情報を探して、また周囲から様々ながん治療に関する情報が入ってくることも少なくありません。



東葛病院8F緩和ケア病棟デイルーム

がん治療の「標準治療」とは？

さらには、医師の説明も不正確であったり、患者・家族との対話が足りないことも、患者・家族が様々な情報に翻弄されてしまう一因です。例えば、「Page 4で、終末期です」「余命は3ヶ月程度です」「これ以上治療は出来ないのでは」とは緩和ケアで「標準治療」とは、不正確で誤解を招く説明です。また、がん治療でよく使われる「標準治療」という言葉聞いて皆さんはどんなイメージを受けますかね？標準治療と言われると、並の治療で、もっといい治療があるのではと思いませんか？詳しく説明すると、「標準治療」とは「現時点での最善の治療です」。がんに関して、正確な情報を集めるなら、最初に国立がん研究センターのがん情報サービス ([https://ganjoho.jp/public/index.html](https://ganjoho.jp/public/in dex.html)) 見ていただく。ただし、がん情報サービスにも問題点があります。それは、



繋がると届く緩和ケア



東葛病院緩和ケア科HP

1) 自身にとってどんな情報が必要かわからないと調べようがない、2) 知りたい情報を探し出すのが大変、3) 情報を読み解くのが大変、などです。将来的にはAIやチャットボットを活用して情報収集がより効率的に行われることが期待されますが、現時点では医療従事者との対話が重要です。ただし、医療従事者は忙しそうです、なかなかゆとりと話をすることも難しいことが多いのが、現状です。

がん治療や緩和ケアの基本を知っていただくために

そこで、東葛病院の緩和ケア科では、緩和ケアに限らず、がん医療を受けるうえで基本的な考え方や日常生活などの問題に答えていければと考えています。このような目的に

緩和ケア科の外来を気軽に利用していただいても大丈夫です。また、がん治療や緩和ケアの基本を知っていただくために、分かりやすく、正確な情報を届けるために、令和4年4月末より、週に一度、YouTube動画配信を開始しました。「繋がる届く緩和ケア」です。これまで約100本の動画を配信してきました。是非一度ご覧ください。(https://youtube.com/@early-palliative-care?si=Kd66bsZOWwTqIk) 患者本人だけでなく、ご家族にも役立つ情報を出来るだけわかりやすく発信していきます。「Hope for the best, Prepare for the worst, 最善を望み、最悪に備えよ」という言葉をお患者・家族が実践し、納得のうえで医療を受け、生活を送れるよう支援してまいります。これが、東葛病院緩和ケア科、私たちの使命と考えています。

### 聴診器



「政治とカネ」の話がまた出てきている。政治資金パーティを発端とした真金疑惑だ▼リクルート事件の影響もあり、1994年政党助成法が制定され、私たちの税金から各政党に政党交付金を分配し、企業、団体、労働組合等から見返りを求めるような寄付や献金をできるだけでなく、公正な政治を行ってもらうはずであった▼しかし、今も政党交付金を受け取りながら、多額の寄付や献金をもらい続けている。政党助成法の目的であった政治の公正化が図られていないのか甚だ疑問である▼そのように見えることは遺憾ということ、この法律自体の抜け穴を塞ぐ、もしくは罰則を強化する法改正などの解決に乗り出してもいいと思うが、そこについて我々国民には見えてこない▼俗にいう大人は、いまだきの若者達を、「常識を知らない、何を考えられているのかわからない、空気が読めない」等々揶揄することがある▼その2世代には、大人世代がどのように映っているのか(富)